

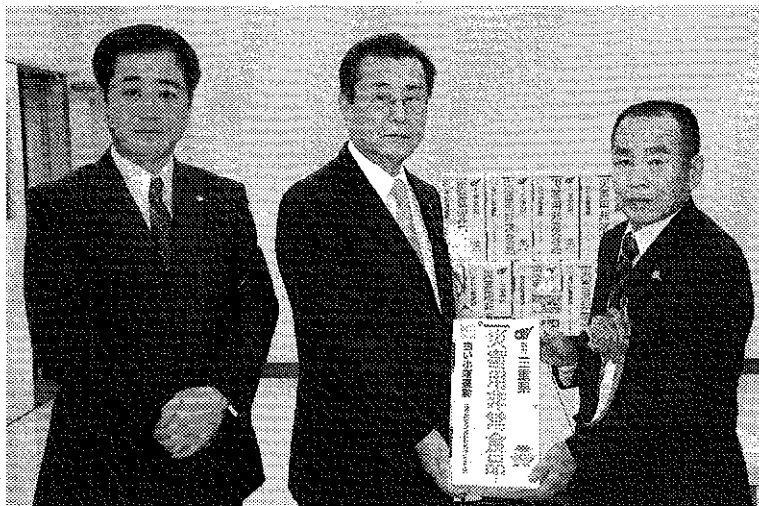
# 報 新 紀 南

## 災害用非常食を贈呈

### 「白い小箱」敬老会参加者へ

敬老会を前に、災害用物資「白い小箱」の贈呈式があり、古川町長が中門会長へ手渡した。白い小箱運動を実施する一般社団法人日本非常食推進機構（JEF D）の古谷賢治代表理事が町に寄贈し、町から敬老会参加者に配られる。

J E F Dが続ける災害用非常食個人備蓄推進運動の一環。「白い小箱」とは、アルファ米、アルミ防寒シート、ポケットティッシュといった一人一日分の食料、水などを一箱にセットしたもので、同団体では昨年十月から県内を中心に五千セットを無料配布した。災害に備えて各家庭に保管し、三年間の保管期間が終了すると回収し、海外の貧困地域で活用する。



白い小箱の贈呈を受ける中門会長(右)

贈呈式で古川町長は、「防災意識を持ってもらう上で、ぜひ、この白い小箱を持ってもらいたい」と呼びかけ、中門会長は「町老連としても防災意識の向上に努めている。こ

の運動にも積極的に参加したい」と話していた。

